

札幌医科大学 医学部を選ぶ理由がある

道内100以上の関連病院で、
北海道の医療を守る

医師のキャリアをサポート 「卒後プログラム」

医師として独り立ちするには、卒後、約10年間、初期・後期臨床研修を通して、専門的な研鑽を積む必要があります。

札幌医科大学「卒後プログラム」は、道内各地の病院と連携しており、その教育ネットワークが豊富な症例経験を可能にし、真に実力のある医師を養成します。専門医の資格を取得するまでのキャリア形成も、札幌大がサポートします。



全国先進モデル 「地域包括型診療参加臨床実習」 ~文部科学省選定~

医学部6年生では、地域基幹病院において、学生が医療チームの一員として診療参加型の臨床実習を行い、医療現場に即した基本的診療能力を徹底的に養います。

この取組は、全国の先進モデルとして文部科学省に選定され(平成24年度)、補助事業終了後も継続して開講しています。



地域医療の実態を知る 「地域医療合同セミナー」

医学部1~3年生では、道内各地に赴き、地域の生活や医療体制、健康課題等について、住民と交流することで、地域医療に必要な視点を身に付けます。

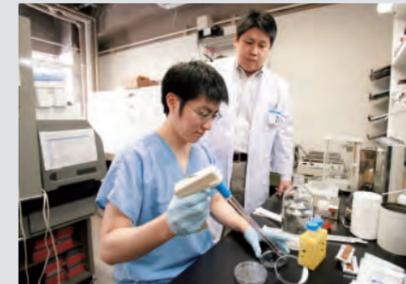
また、現地の医療スタッフから多職種連携やチーム医療を学びます。



世界をリードする研究で
医学の未来を切り拓く

研究医への第一歩 「医学博士」を取得

札幌医科大学大学院では、生命倫理から再生医療まで、3専攻11領域60科目にわたる幅広い分野の中で研究を行い、学位(医学博士)を取得することができます。例年、約40~50名が博士号を取得しています。



研究医育成の基盤 「MD-PhDプログラム」

医学部2~5年生では、大学院教育を学部在籍中から開始するMD-PhDプログラムを履修することができます。通常4年間の大学院博士課程を3年間で修了することが可能になります。

優れた研究指導者のもと、最先端の医学研究に早期から関わることで、必要な論理的思考力や考察力を身に付けます。

合計70名の学生が履修しており、履修者の研究成果が国際論文や教科書に掲載されるなど、本プログラムと履修者の今後に期待が集まっています。



研究の魅力と奥深さに触れる 「研究室配属」

医学部3年生では、生理学や病理学等、基礎医学研究等を行う講座に1ヶ月間全員が配属されます。研究テーマを基に、海外の論文を読んだり、研究室の中で議論し合うことで、真理を追求する科学者の姿勢を学びます。



臨床マインド

研究マインド

後期臨床研修
(卒後 7年間)

初期臨床研修
(卒後 2年間)

大学院

医師国家試験

医学部 第6学年

医学部 第5学年

医学部 第4学年

医学部 第3学年

医学部 第2学年

医学部 第1学年

「北海道医療枠」

「一般枠」

「地域枠」

「特別枠」